くらし 歳時記

湯たんぽ

寒い冬を温かくしてくれる湯たんぽ

寒い夜。寒くてなるのは湯たんぽ。布団の足元に入れておけば布団をほんわりと温めてくれます。暖房器具やカイロの種類も豊富していますが、湯たんぽのいいところは肌触りがやさしく乾燥することなく、適度に体を温めてくれるところ。目覚めたときの疲労感もありません。

おなかの痛いときにそっとあてたり、腰痛にも大活躍。机に向かっている受験生の足元にちょうどいいプレゼントになるかもしれません。

柔らかいプラスチック製の湯たんぽは使いやすく、昔ながらのブリキ製も健在です。

気をつけたいのは低温やけど。六〇～七〇度のお湯をいれること。それぐらいのお湯で温かさも十分です。

（文・広田千悦子、写真・広田行正）

資源 「節水」がキーワード。

みんなでお風呂に入いろう大作戦 1

お父さんもいっしょに入いるよ

みんでお風呂にはいると楽しいよ～

それに水道、ガスも節約につながってエコだね！

みやざき会ではこんな感じ

このゆたんぽはリサイクルチップで暖まるよ

ゆたんぽ大作戦 2

ペットボトルにお風呂の残り湯を入れて湯たんぽにしてます

みやざき会ではこんな感じで乗ってキソサキを走っているよ

エコ大作戦

自転車大作戦 4

キソサキ町内はがんばって自転車で行動してCO₂減らしてるよ

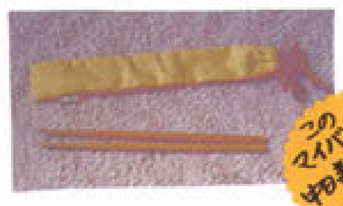
だいさくせん 3

お風呂の残り湯大作戦

お風呂の残り湯も有効活用

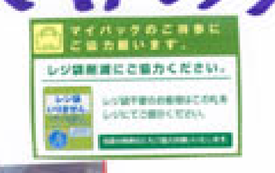
みやざき会のエコじゃないところ

洗たく機が二層式だから
エコ・消エネ対応では
ないため 電気代、ガス代の
事を考えると エコにつながら
ないため これからの
みやざき会の改善するところです



このマイバックは中日新聞さんのいただきものです

マイはしマイバック大作戦 5



みやざき戦隊 エコレンジャー紹介

長男 たつや 8才 — エコレンジャーレッド — 好きなエコ リュース

次男 はやと 6才 — エコレンジャーブラック — 好きなエコ 缶のリサイクル

母 さわ — エコレンジャーパープル — 好きなエコ マイバック

長女 るな 4才 — エコレンジャーピンク — 好きなエコ マイじてんしゃ

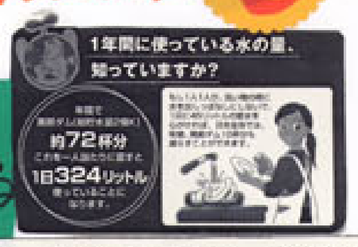
三男 えいた 1才 — エコレンジャーイエロー — 好きなエコ エコ生活

父 ひろし — エコレンジャーブルー — 好きなエコ エコ料理

リサイクル大作戦 6

中日新聞の毎週月曜日にのっている『ちょっとエコわざ』を紹介します～

エコじゃなくてごめんね！



ちょっとエコわざ

鞍作 トリ

手間かけ家づくり

イラスト・石渡美智子

私たちは大なり小なり家という箱に住んでいる。老朽化し、家がゴミになった場合、廃棄量はどれぐらいだろう。全国解体工事業団体連合会の調べでは、延べ床面積三十坪の木造建築を解体すると廃材は約四十トン。現住用ではないものを含めた二〇〇五年度の建設廃棄物は七千七百万トン（産業廃棄物全体の30％）を占める（国土交通省調査）。

内訳はコンクリートのかたまり、木材、汚泥、さらにアスベスト、旧式蛍光灯安定器、引火性廃油などで、危険物質も含まれている。60％近くが未決定という事実もある。建築廃棄物は環境に大きな負荷をかけているのだ。

最初から環境に優しい資材を使いたい。シックハウス症候群の原因の一つである化学物質を使わない家にすると、健康被害も防げる。入居者が住みたい家を造る。コーポラティブハウス」なら、自由設計で、化学物質を使わない自然素材を内装や床に選べる。NPOが関与していれば、広告宣伝にお金をかけないので、市価より安く家を購入できる場合が多い。

高い注文住宅が無理でも中古物件なら、という人にはリフォーム工事前のものがお勧めだ。理想は自分で手間をかけた工事。浮いたお金で質の高い自然素材を自由に選べる。業者に個人注文しても新築より安く上がり。ネットで対応する業者も増えたので調べてみたら。

（環境ライター）

ちょっとエコわざ

鞍作 トリ

古本、もう一度世に

イラスト・石渡美智子

ついついたまってしまう本や雑誌、書類ごみの日に出す、古本屋に売る、人にあげるなど処分方法もさまざまだ。古紙再生促進センターによると、二〇〇七年度の古紙回収率は約65％、うち再利用率は約61％。他国と比べると高い。中でも新聞紙や段ボールはリサイクル優等生だ。

一方、雑誌や本はリサイクルしにくい。背表紙などに使われるのりが大敵。のりに水と熱を加えるとネバネバになり、再生困難に。写真やゴミを含まれにくい状態にするためのコーティング加工紙も、まず使られている原料を取り除かなくてはならず、手間やコストがかかる。

というわけで、本はリユース（もう一度使う）が望ましい。同じ処分なら、社会や人のためになる活用法を選んでみては？

中古本販売チェーンではNPOと協力し、売り上げをアジアでの学校建設のために使っている。中学や高校生が主催する古書市やバザーでも古書提供を呼びかけていることも。売り上げは学校図書購入に充てられる。一度、母校の検索をしてみてはどうだろう。

他に、福島県白見町の「ともかく株式会社」では、古本などを定価の10％で買取して買い取り、その金額千七百五十円につき森林一坪と交換し、オーナーになってもらう山林保護事業をしている。捨てれば“ごみ”だけど、使えば資源（資金）にもなる活用術。ぜひお試しあれ。（環境ライター）

こどもエコクラブ全国フェスティバル

クラブ所在地 都道府県 みえ きそさき 市区町村

クラブ名 みやざき会